

糖尿病の合併症「し（神経）・め（眼）・じ（腎臓）」を予防

～無理なく続ける食事・運動・薬物療法～

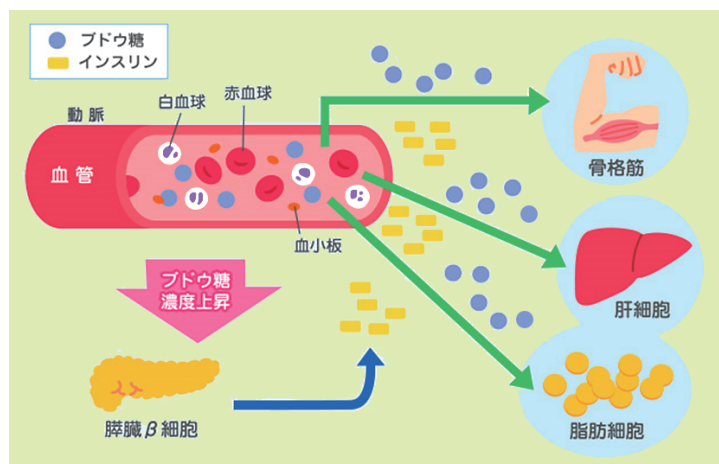


糖尿病・代謝・内分泌内科

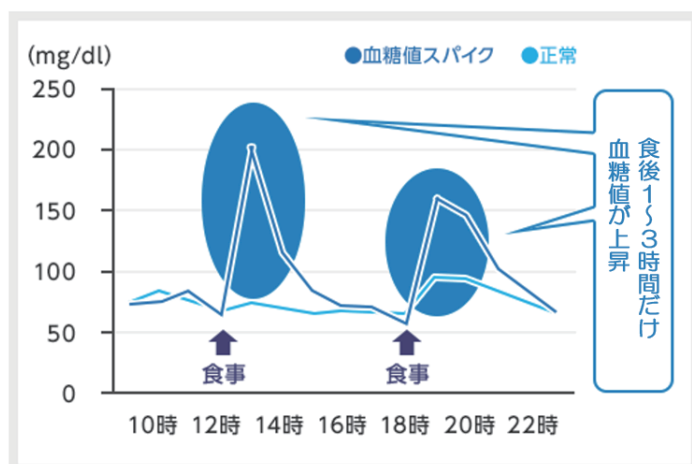
西村 理明 診療部長

糖尿尿で治療を受けている患者数は約580万人(2024年調査)とされています。すい臓で産生されるインスリンというホルモンの不足や作用が低下することによって、血液を流れるブドウ糖が増える病気です。高血糖が続くと全身の血管が障害され、進行すると怖い合併症が起こります。早期に発見して、治療を始めることで進行を抑制することが大切です。

<インスリンの働き>



<血糖値スパイク>



糖尿病は進行すると様々な合併症がおこります。特に神経、眼、腎臓に対する影響が大きいので、この3つの頭文字を取って「し（神経）・め（眼）・じ（腎臓）」と覚えてください。また近年の研究で、食後に血糖値が急激にあがる血糖値スパイクによって、初期の糖尿病でも心臓や脳で命にかかわる病気を引き起こす可能性があることがわかってきました。糖尿病は生活習慣と関連が強い病気です。食事療法や運動療法を続けることで進行の抑制に繋がります。

すでに糖尿病の治療を行っていても血糖値が下がらない方は、かかりつけ医に紹介状を書いていただき受診するようお願いいたします。詳細は動画をご覧ください。



動画概要

糖尿病の合併症「し・め・じ」を予防～無理なく続ける食事・運動・薬物療法～
糖尿病・代謝・内分泌内科 西村理明 診療部長

